

家庭学習の手引き

家庭学習のねらい・・・

- (1) 学年に応じた家庭学習時間を確保し、基礎学力の定着を図ります。
- (2) 学習の習慣化を図るとともに、努力し続ける力を育てます。



家庭学習のポイント・・・

- ◇ 学習しやすい環境づくりに努めましょう。
 <ノーテレビ、ノーゲームタイム（デー）>
- ◇ 話し合っ、家庭学習の時間を決めましょう。
 <生活スケジュール表の作成>
- ◇ 親子でいっしょに学習する時間を、5分でも10分でもつくりましょう。
 <ファミリー読書、親子計算5問など>
- ◇ 家庭学習の時間を利用して、見届けましょう。
 <1行コメント…音読がとてまじょうず！>

中学年

生かつスケジュール表をつくりましょう。（うら）

- ・ 計かくを立てたら、おうちの人に見てもらいましょう。
- ・ 自分のもくひょうを立てましよう。
- ・ まい日、しゅくだいをふくめ、30分から50分、進んで学習ましよう。
- ・ ノーテレビ、ノーゲームタイム（デー）をつくりましよう。
- ・ 遊びをふくめ、まい日、体を動かましよう。
- ・ 今日あったことをおうちの人に話ましよう。
- ・ よる、きまった時間にねましよう。（早ね、早おき）
 3年生はよる9時まで、4年生はよる9時はんまでねましよう。



気をつけること

- ・ 生かつスケジュール表のけいかくをまもって、まいにちつづけましよう。
 - ・ はじめに学校のしゅくだいをし、明日もって行く物をよういましよう。
 - ・ つぎに、じしゅ学習ノートにとりくみましよう。おわったら、おうちの人に見てもらい、まる（○）をしてもらいましよう。学校の先生にてい出して、サインをもらいましよう。
- <じしゅ学習ノートのれい>
- 国語（音読、かん字れんしゅう、いみ調べ、ローマ字れんしゅう）
 算数（計算れんしゅう） その他（読書、日記）
- ※ 同じことをくりかえすことでたしかな力となります。
- ・ わからないところがあったら、おうちの人にききましよう。



学校と家庭の学習サイクル



①【学校での記録】

学校の先生より出される宿題や持ち物を連絡帳にしっかりと記録して帰ります。



②【家での見届け・声かけ】

宿題ができているか、持ち物が準備できているか確認します。できたら、宿題以外の家庭学習に取り組みせます。



③【教師による見届け・評価】

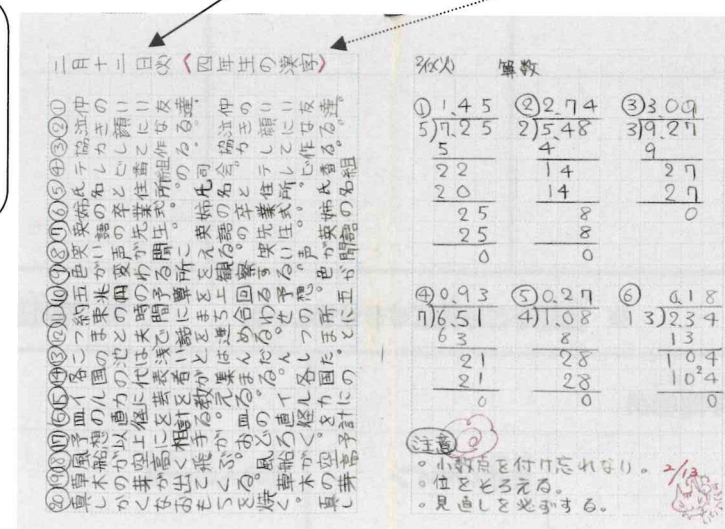
宿題の答え合わせや点数など、先生からの評価を継続して行います。また、家庭学習の取り組みを定期的に確認します。

【じしゅ学習ノートのれい】

①日づけをかきます。

②学習のテーマを書きます。

③ていねいに書ましよう。まちがえたら、きれいにけして書きなおましよう。



④おわったら、おうちの人に見てもらいましよう。